

2021年度

事業計画書

公益財団法人京都技術科学センター

I 公益目的事業 1 (研究助成事業)

技術立国日本を支える科学技術の振興を図るため、若手研究者が行う研究開発に必要な経費を助成するとともに、次年度の研究開発助成対象者を募集し、選考する。

1 2021年度研究開発助成金の交付

2020年度第2回定時理事会で決定した研究開発助成対象者に対し、研究開発に必要な経費を助成する。

(1) 名 称 2021年度研究開発助成金

(2) 助成件数 13件

(3) 助成総額 1,300万円

なお、年度当初に所要の財源が得られる見通しが立った場合には、補欠のうちから追加で助成できるものとする。

2 2022年度研究開発助成対象者の募集と選考

2022年度研究開発助成対象者を募集し、審査・選考する。

(1) 募 集 対 象 近畿地方、北陸地方(富山県、石川県及び福井県)、中国地方及び四国地方の大学(附属研究所を含む。)及び工業高等専門学校並びに公的研究機関に所属する40歳未満の研究者

(2) 研 究 分 野 ものづくりに資する基礎的・応用的研究であって、材料、機械、電気電子の各技術分野に属するもの

(3) 研 究 期 間 原則として2022年4月から2023年3月までの1年間

(4) 助成上限額 1件当たり100万円

(5) 助成総額 1,400万円程度

II 公益目的事業2（人材育成事業）

科学技術の振興と産業の発展を担う人材の育成事業を行う。

なお、2021年度においても新型コロナウイルス感染症の流行が止まないと見込まれることから、事業の特性に応じた感染防止対策を講じるものとする。

1 技術セミナー

京都府中小企業技術センターとの共催で、ものづくり企業等の技術者・研究者を対象に、先端技術シーズや研究開発の最前線の状況等を紹介するセミナーを、専門家を招聘して開催する。

(1) ものづくり先端技術セミナー

ア 目的	中小企業の新技术・新規材料への関心を高め、ものづくり技術の高度化を促進する。
イ 共催	公益財団法人京都技術科学センター 京都府中小企業技術センター
ウ 開催回数	年3回
エ 対象者	関連企業の技術者・研究者
オ 募集人員	各回30人
カ 受講料	無料

(2) 電磁波技術セミナー（新規）

ア 目的	マイクロ波・ミリ波や5G通信技術などの製品開発を行う企業を対象に電磁波関連の基礎知識や試作・開発・評価等に関する話題提供を行い、技術の向上を図る。
イ 共催	公益財団法人京都技術科学センター 京都府中小企業技術センター
ウ 開催回数	年6回
エ 対象者	関連企業の技術者・研究者
オ 募集人員	各回35人
カ 受講料	無料

2 技術研究会

京都府中小企業技術センターとの共催で、ものづくり企業等の技術者等を対象に、機械設計・計測技術及び分析評価技術に関する研究会を、専門家を招聘して開催する。

また、関西品質工学研究会との共催で、品質工学に関するシンポジウムを開催する。

(1) 機械設計・計測技術研究会

- ア 目的 機械設計・製図に必要な基礎知識から機械部品等の形状評価を行う計測技術、さらに電気基礎技術までの理解を深めることを通じて、設計技術力の高い人材の育成を図る。
- イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
- ウ 開催回数 年6回
- エ 対象者 主に関連企業の設計技術者
- オ 募集人員 10人
- カ 会 費 年額10,000円/人

(2) ものづくり分析評価技術研究会

- ア 目的 高度分析装置を対象に、最新動向から高度な活用技術までを学びながら、ものづくり企業の製品開発技術支援を図る。
- イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター
- ウ 開催回数 年4回
- エ 対象者 関連企業の技術者
- オ 募集人員 20人
- カ 会 費 年額5,000円/人

(3) 品質工学研究会

- ア 名 称 品質工学シンポジウム2021 in おおさか
- イ 主 催 関西品質工学研究会
- ウ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
中部、滋賀県、京都、広島各品質工学研究会
- エ 開催時期 2021年10月8日(金)(予定)
- オ 会 場 大阪市内(予定)
- カ テーマ 「自然災害・環境問題における損失低減を考える」(仮題)
- キ 内 容 基調講演、研究発表、パネルディスカッション
- ク 参加人員 150人

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業・科学技術の発展を担うベンチャー精神に富んだ起業家や柔軟でユニークな発想を持つ研究者を育成するため、高校生、高等専門学校生、大学生及び大学院生を対象に、技術に関するアイデアを広く募集し、書類審査通過者を対象にコンテストを開催する。

- (1) 名 称 テクノ愛2021
- (2) 主 催 テクノ愛実行委員会
- (3) 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
京都大学産官学連携本部
- (4) 後援 (予定) 文部科学省
近畿経済産業局
京都府教育委員会
京都市教育委員会
NHK京都放送局
国立研究開発法人科学技術振興機構
日本ベンチャー学会
関西ベンチャー学会
- (5) 協賛 (予定) 大阪大学共創機構
神戸大学産官学連携本部
京都工芸繊維大学産学公連携推進センター
大阪電気通信大学
関西サイエンス・フォーラム
- (6) 協力 (予定) 京都大学生協同組合
- (7) 応募資格 高校の部 全国の高校生、高等専門学校3年生まで
大学の部 全国の大学生、大学院生、高等専門学校4・5年生・専攻科生
- (8) 応募期間 2021年8月2日～9月10日
- (9) 審査方法 選考委員による書類審査で、コンテストに進む高校の部、大学の部各9テーマを選考。
- (10) コンテスト 開催日 2021年11月23日(火・祝日)(予定)
開催場所 京都大学国際科学イノベーション棟 (予定)
- (11) 表彰等 高校の部、大学の部ごとにグランプリ、準グランプリ、優秀賞及び奨励賞を、また総合の部としてテクノ愛賞を選考し、賞状、副賞を授与する。
また、コンテストに進まなかったテーマのうち、書類審査で健闘したと認められたものに、健闘賞として賞状、副賞を授与する。
- (12) 参加料 無料
- (13) その他 新型コロナウイルス感染症によりコンテストが開催できない場合は、ナレーション付きPowerPoint資料等により最終審査を行う。

4 科学館・技術館訪問研修

中学生及び高校生を対象に、夏休み期間を利用して、高い技術力を有する企業等を訪問し、研究開発の歩みや経験、将来展望等の講話を聴くとともに、生産工程等を見学する研修会を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症の流行が止まらない中、訪問先企業の協力を得ることが困難であること等から、2021年度は休止する。

5 おもしろサイエンス

小学生を対象に、夏休みと冬休みの期間を利用して、科学実験や工作を体験する実験教室を開催する。

- | | |
|------------|--|
| (1) 名 称 | ①おもしろサイエンス2021・夏休み実験教室
②おもしろサイエンス2021・冬休み実験教室 |
| (2) 協 力 | サイエンスEネット |
| (3) 後援(予定) | 京都府教育委員会
京都市教育委員会 |
| (4) 開催時期 | ①2021年8月中旬
②2021年12月下旬 |
| (5) 会 場 | 京都技術科学センター本館1階B会議室 |
| (6) 参加資格 | 近畿地方の小学生 |
| (7) 募集人員 | 午前の部 10人程度
午後の部 10人程度 |
| (8) 参加料 | 無料 |

6 科学技術情報等提供

ホームページを活用して、当センターが実施する事業やイベントの周知、研究開発助成成果報告書の掲載、各種人材育成事業の開催状況等の情報を提供し、利用者やイベント参加者の拡大を図るとともに、科学技術情報を広く発信する。

III 収益事業

公益目的事業の実施に必要な財源を得るため、本法人が所有する建物・土地を事務室・研究室・倉庫、駐車場等として賃貸するとともに、会議室を貸し出し、その収益を活用する。

長期ビジョンの資産有効活用方策の一環として、2020年度に地階西側ゾーンの改修を行って設けた貸室(事務室2室、倉庫1室)が早期に埋まるよう、入居者の確保に努める。

また、空室となった地階東側ゾーンの貸室(事務室1室、倉庫1室)を改修し、入居者を募集することとする。

IV その他

1 長期ビジョンの具体化

長期ビジョンの実施計画（2019年度～2023年度）に基づく各種取組を推進するとともに、2021年度の取組計画の一部を次のように変更する。

(1) 収益事業（資産有効活用方策）

2022年度以降に計画していた地階東側ゾーンの改修は、入居者の退居に伴い2021年度から数次に分けて実施する。

2021年度は、B17号室（事務室）及びB17-1号室（倉庫）の改修を行う。

(2) 建物・設備の改修等

2021年度に計画していた給水管、雑排水管、雑排水ポンプ、手洗等の更新は、2022年度に行うこととし、2021年度は更新に必要な調査・検討を行う。

2 建物・設備の改修等

長期ビジョンの実施計画（一部変更後）に基づき、地階東側ゾーンの貸室の改修その他の工事を行う。

(1) 地階事務室等改修工事

ア 工事の概要

地階東側ゾーンにあるB17号室（事務室）の床・壁等を改修するとともに、エアコン・換気扇・照明器具等を更新。また、B17-1号室（倉庫）の床・天井等を改修するとともに、照明器具を更新し、電力量計等を設置

イ 工事費

3,200,000円

(2) 高圧受電設備更新工事

ア 工事の概要

耐用年数が到来した高圧受電設備（高圧コンデンサ1個、高圧避雷器3個、高圧カットアウト6個）を更新

イ 工事費

900,000円

(3) 玄関自動ドア装置更新工事

ア 工事の概要

老朽化している正面玄関の自動ドア装置（2001年製）を更新

イ 工事費

400,000円

(4) エアコン更新工事

ア 工事の概要

老朽化したエアコンを対象に5台程度更新

イ 工事費

2,000,000円

(5) 電気設備更新工事

ア 工事の概要

老朽化した照明器具、所定の年数を経過した電力量計等を計画的に更新

イ 工事費

500,000円